

5. 工事完成図(配管工事)作成要領

工事完成図（配管工事）作成要領

1. 構成

(1) 完成図は、工事内容に基づき、次に掲げる図面をもって構成する。

- ア 表題
- イ 工事概要
- ウ 図面目録表
- エ 位置図
- オ 平面図
- カ 縦断図
- キ 断面図
- ク 詳細図
- ケ 配管施工図
- コ 弁栓類位置寸法図・許可図
- サ 弁栓類等製作承認図

2. 留意事項

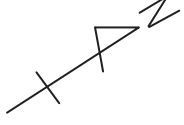
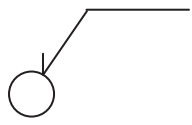



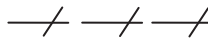
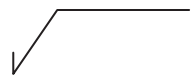
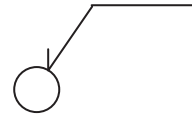
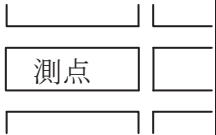
(1) 図面の規格は、「工事完成図作成基準」によるものとする。

(2) 各種図面に使用する線の太さ及び文字の大きさ等は表－1を標準とする。

なお、図面の縮尺、文字数、地形及び既設物の輻輳等を考慮してA3版に縮小したとき判読出来るように作成する。

(3) CADデータで作成する場合の基準については、広島市水道局作成の「CAD製図基準」によること。

表-1 図面表示の標準

種 別	表 示 方 法		文 字 ・ 数 字		摘 要
	表 示	線の太さ(mm)	太さ(mm)	大きさ(mm)	
サブタイトルと下線	<u>平面図</u>	0.7	0.7	8	
方 位		0.5	0.5	5	
縮 尺	S=1/1,000	0.5	0.5	5	
地形図のトレース		0.3	0.3 0.5	4 5	
工事現場		0.5	0.5	5	
新設管		0.7	0.5	5	
既設管		0.3	0.5	4	
撤去管		0.3	0.3	5	
放棄管		0.3	0.3	5	
引出し寸法線		0.3	0.3	5	
断面位置表示	<u>NO. 1</u>	0.3	0.5	5	○は直径7mmとする。番号は算用数字とする。
	①-①				
断面図表示	<u>NO. 1</u>	0.5	0.5	5	
	①-①				
詳細図位置表示		0.3	0.5	5	
詳細図表示	<u>A詳細図</u>	0.5	0.5	5	
数値表示欄		0.5	0.5	6	

数値表示欄内数字	 — 0.00 — 	0.3	0.5	5	
		0.5 0.3	0.5	5	
工事内容・凡例		0.5 0.3	0.5	5	

3. 表 題

表題には縁取りをし、もれがないように必要事項を記入する。

4. 工事概要

工事概要には、施工理由、名称、口径、管種、延長、着手日、完成日及び工事場所を記入する。

なお、放棄管及び撤去管は取得年度と固定資産台帳の整理番号を記入する。

123456
— S 30

また、老朽管の場合には「老」と記入し、受贈管の場合には「受」と記入する。

5. 図面目録表

図面目録表には、各図面の名称、葉数及び番号を記入する。

6. 位置図

(1) 図面の配置

位置図は、紙面の左上側又は全面を使用する。なお、全面を使用するときは、A3版とする。

(2) 縮 尺

縮尺は6,000分の1の配管図を使用する。

なお、6,000分の1の配管図が未作成で設計図が他の縮尺を使用している場合は、それを拡大又は縮小して6,000分の1とする。

(3) 記入事項

ア 位置図は、紙面の上側を北としサブタイトル、縮尺及び方位を記入する。

イ 図面には、市界、区界、町名、主要な施設、鉄道及び河川等目標となるものを記入する。

ウ 工事場所は、工事路線を太い実線で記入するとともに、囲いをして引き出し線で「工事場所」と記入する。

エ 配管台帳図面番号を記入する。

(4) そ の 他

第2原図で作成してもよい。

7. 平面図

(1) 図面の配置

平面図は、位置図の記入された紙面の右側又は別紙面とし、原則として位置図と同じ方向とする。

なお、設計図に縦断図が示されている工事については、平面図が上側、縦断図が下側とし、両図面が対照できるように作成する。

この場合、工事始点（上流）は左側とする。

(2) 縮 尺

縮尺は、500分の1を標準とするが、設計図が他の縮尺の場合は、監督職員の指示によるものとする。

(3) 記入事項

ア 平面図は、原則として位置図と同じ方向となるように作成し、サブタイトル、縮尺及び方位を記入する。

イ 地形図は工事路線（道路）の両側10～20m程度とし、町名、住居番号及び目標物（家屋）等を記入する。

なお、新設団地等で住居番号がない場合は、ブロック番号を記入する。

ウ 新設管は太く濃く、既設管は細く配管記号で記入する。

エ 設計・施工時において、下水、ガス、NTT及び中電等既設物を調査した場合は、できるだけ当該既設管の位置を記入する。

オ 新設管は、各路線ごとに引き出し線と寸法線で、名称、口径、管種及び延長を記入するが、同一路線で図面枚数が2枚以上になる場合は1枚ごとに名称、口径、管種及び延長を記入する。

また、新旧管連絡か所を明示する。

なお、工事内容延長は単位止めとする。

カ 名称は配水管新設工事のみの場合は新設管と表示し、他の工種がある場合は新設揚水管、新設配水管及び新設排水管等で表示する。

キ 撤去管及び放棄管の位置を記入し、引き出し線と寸法線で名称、口径、管種、延長及び取得年度を記入する。

ク 団地等勾配のある道路に管を布設する場合は、道路又は民地の地盤高を必要に応じて記入する。

ケ 受贈分の場合は、引き出し線と寸法線で名称、口径、管種及び延長の次に $\textcircled{\text{受}}$ と記入する。（ただし、アロケ分は記入しない。）

また、老朽管の場合は、 $\textcircled{\text{老}}$ と記入する。

コ 街路番号、既設管名等の文字はできるだけ道路外に記入する。

サ 道路名及び河川名を記入する。

シ 配管台帳図面番号を記入する。

8. 縦断図

(1) 作成基準

縦断図は、取・導・送・揚水管及び400耗以上の配水管について作成する。

(2) 図面の配置

縦断図は、平面図の下側とし、図面が対照できるように作成し、始点は左側とする。

(3) 縮尺

水平方向の縮尺については、平面図と同一縮尺とする。

(4) 記入事項

ア 縦断図の上側中央にサブタイトル及び縮尺を記入し、数値表示欄は左側に上欄より次の順で記入する。

なお、縦断図を分割した場合の数値表示欄には、全て名称を記入する。

(ア) 土被り

(イ) 管天高

- (ウ) 地盤高
 - (エ) 追加距離
 - (オ) 単距離
 - (カ) 測点
- イ 新設管は太く、濃く所定の配管記号で記入するが、異種管、切管、異形管及び弁類等は、継ぎ手か所を所定の配管記号で記入し、引き出し線にて管種、名称、口径及び規格寸法を記入する。
- ウ 既設物との交差部の間隔が判明するか所は、寸法を記入する。

9. 断面図

(1) 図面の配置

断面図は、平面図の周辺又は別紙面に平面図で記入された番号（測点）を左下より順に作成する。

(2) 縮 尺

縮尺は、100分の1を標準とするが、設計図が他の縮尺の場合は設計図と同一の縮尺とする。

(3) 記入事項

- ア 断面図の上側中央にサブタイトル及び縮尺を記入する。
- イ 断面図の間隔と位置は、試掘調査の資料及び工事記録写真を参考に20mを標準とするが、変化点がある場合は追加して記入する。
- ウ 表示記号は、①-①又はNo.1記号を使用する。
- エ 試掘、立会及び給水管取付等で既設管位置が判明したところは、既設管名、口径、土被り及び官民境界又は歩車道境界からの寸法を記入する。

10. 詳細図

(1) 図面の配置

詳細図及び各種構造図は、平面、断面、正面及び側面等相互関連づけ実施工と合わせ、順序よく配置する。

(2) 縮 尺

縮尺は、100分の1を標準とするが、設計図が他の縮尺の場合は、設計図と同一の縮尺とする。

(3) 記入事項

- ア 詳細図の上側中央にサブタイトル及び縮尺を記入する。
また、方位については、詳細平面図の上側に記入する。
- イ 表示記号は英文字を使用する。
- ウ 平面詳細と断面詳細がある場合、平面詳細には全ての異形管等を、断面詳細がある場合にはT字管、消火栓及び仕切弁等を引き出し線で管種、名称、口径及び規格寸法を記入し、平面詳細と対比できるように作成する。

(4) そ の 他

- ア 詳細図は、道路交差点等配管が複雑なところを作成するが、伏せ越しか所等は断面詳細を作成する。
- イ 特殊押輪使用か所は、配管記号で記入する。

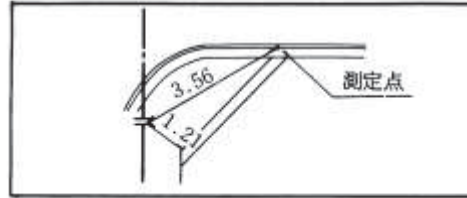
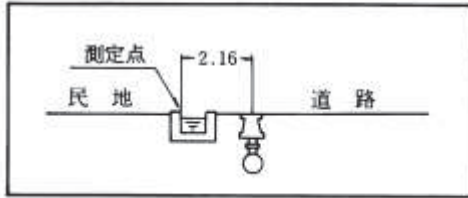
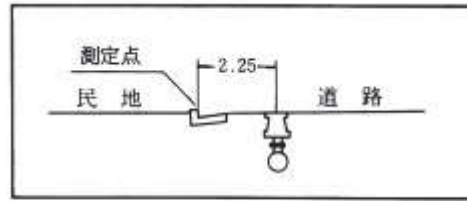
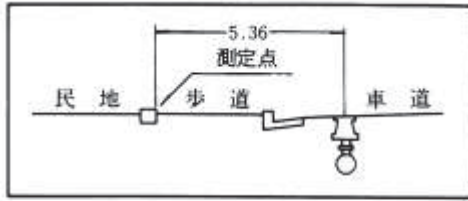
- ウ 曲管を使用したとき、標準断面の管天高を基準とし、それより下部の上げ下げの曲管をVD、上部の上げ下げの管をVUの記号で明記する。また、ひねり部はVHの記号で明記し、平面詳細及び断面詳細にも引き出し線で使用を明記する。
- エ 栓止めか所がある場合、位置寸法を記入する。

11. 配管施工図

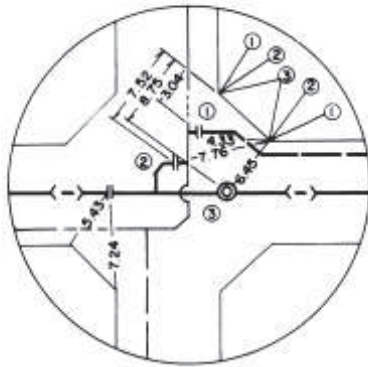
- (1) 図面の配置
配管施工図は、別紙図面とし、原則として位置図と同じ方向とする。
- (2) 縮尺
縮尺はノンスケールとする。
- (3) 記入事項
 - ア 配管施工図の上側中央にサブタイトルを記入する。また、方位については上側に記入する。
 - イ 配管状況が確認できるよう全ての使用材料を記入し、甲・乙切管、異形管類、弁栓類等については引出し線により管種、名称、口径及び規格寸法を記入する。
 - ウ 引出し線により、路線別に管種及び口径ごとの延長を記入し、平面図と対比できるように作成する。
 - エ 全ての継手について継手点検表の継手番号を記入するとともに測点(断面)番号を記入し、継手管理状況写真と対比できるように作成する。
 - オ 継手番号は、囲み等により継手形式及び口径が区別できるよう記入する。

12. 弁栓類位置寸法図・許可図

- (1) 図面の配置
寸法図は、詳細図と同一紙面又は別紙面とする。
- (2) 縮尺
縮尺は1, 000分の1を標準とする。
- (3) 記入事項
 - ア 寸法図の上側中央にサブタイトル、縮尺及び方位を記入する。
 - イ 新設管は太く濃く、既設管は細く配管記号で記入する。
 - ウ 配管台帳図面番号を記入する。
- (4) 現地実測
 - ア L型側溝又はブロック類(ガッター等)が設置されている場合は、図-1のとおり官民境界を測定点とする。
 - イ 測定距離はメートル単位とし小数点以下2位までとする。
 - ウ 交差点内の測定は、図-1のとおり弁栓類からもっとも近く、かつ、はっきりしている官民境界の2点を基準として測定する。
 - エ 交差点外又は近くに角切等のない場合の測定は、図-1(交差点外)のとおり弁栓類から直近の路肩線を基準として測定する。
 - オ 曲がり道等は、図-2の表示例のとおり官民境界線及び最寄りの角切を基準として測定する。



(交差点内)



(交差点外)

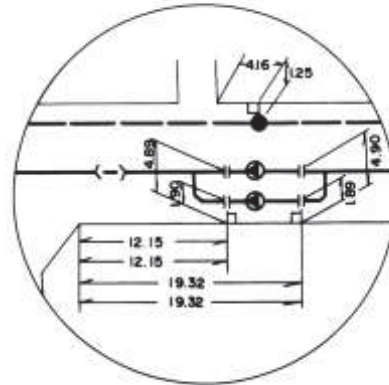
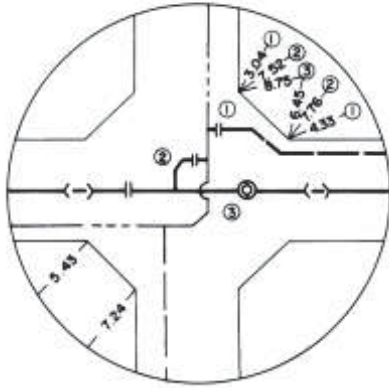


図-1 現地実測例

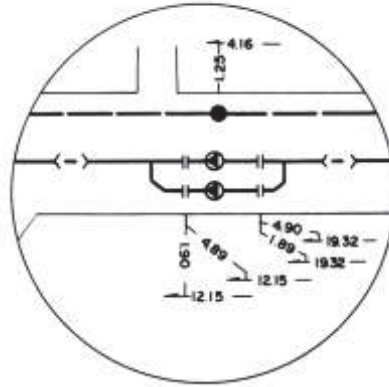
(5) 図面表示

- ア 管種、布設年度等は、原則として道路外に記入する。
- イ 布設管と既設管の区別がはっきり分かるように布設管は太く既設管は細く記入する。
- ウ 新旧連絡か所には図－２のとおり矢印を記入する。
- エ 団地等の布設工事において受贈管がある場合は、図－２のとおり矢印と受で表示する。
- オ 新市内等、街区番号のない場所においては字名等を記入する。
- カ 弁栓類を設置しない布設工事においても弁栓類位置寸法図を作成し提出する。
- キ 弁栓類位置寸法図を作成する基図の地形図と現地が異なる場合は地形図を補正する。
- ク 弁栓類には、引き出し線にて口径・形式・メーカー名・操作回転数を記入する。
なお、減圧弁については、一次圧力・設定二次圧力・地盤高・安全弁設定圧力を記入する。
- ケ 許可・承認(私道を除く。)がある場合は、許可・承認番号及び許可年月日を記入する。
- コ 許可・承認のある場所(私道を含む。)は、引き出し線と寸法線で名称、延長を記入する。

(交差点内)



(交差点外)



※ 占用許可番号及び許可年月日を記入
○は、口径・型式・メーカー名等を記入

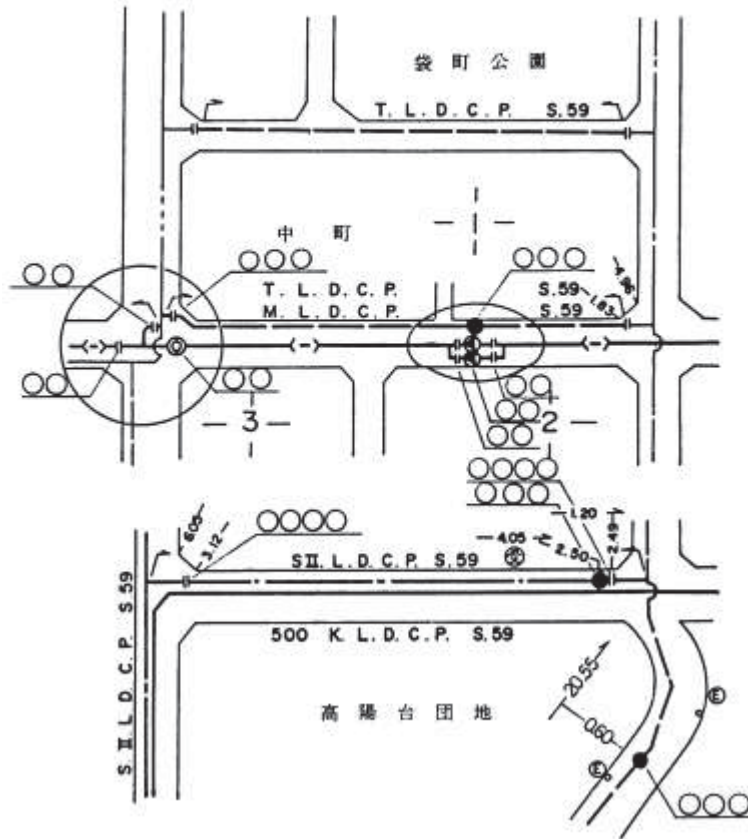


図-2 図表表示例

13. 弁栓類等製作承認図

(1) 図面の配置

承認図は、別紙面に監督職員から交付する承認図で作成する。

(2) 縮 尺

監督職員から交付を受けた承認図と同一縮尺とする。

(3) 記入事項

監督職員から交付を受けた承認図に所定のタイトルを付け、製品名及び図番等必要項目を記入する。

(4) そ の 他

バタフライ弁、高圧仕切弁、コーン弁、流量計、減圧弁、伸縮管及び開閉台等の承認図について作成する。

14. 工事内容

(1) 図面の配置

工事内容は、位置図と同一紙面の右下に表示する。

(2) 記入項目

ア 新設管（取・導・送・揚・配・排・電線管）、消火栓、撤去管、放棄管の順に名称、口径（口径の小さいものから順）、管種及び延長を記入し、受贈管の場合は^受、撤去管の場合は取得年度を備考欄に記入し、老朽管の場合は^老と記入する。

イ 新設管の名称は管布設工事とし、新設管が配水管のみの場合は、備考欄には記入せず、他の工種がある場合は、備考欄に（揚水管）、（配水管）、（排水管）と記入する。また、撤去工事のある場合は、名称に管撤去工事と記入する。

なお、撤去管及び放棄管も同様とする。

15. 凡 例

(1) 図面の配置

凡例は、位置図又は平面図と同一紙面の右側の工事内容の下に記入する。

(2) 記入項目

新設管、放棄管、新設仕切弁、消火栓、特殊押輪、ライナー使用か所、施工内容及び他企業埋設物等を表-2により記入する。

表-2 配管記号

記号	名称	記号	名称	記号	名称
-----	50mm以下【記入】	MPEDCP	メカニカル形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管		ソフトシール多目的仕切弁
-----	75mm【記入】	KLCP	K形铸铁管		ソフトシール多目的仕切弁 (ハイパス)
-----	100mm【記入】	KLDCP	K形タイル铸铁管		多目的仕切弁
-----	125mm【記入】	KPEDCP	K形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管		多目的仕切弁 (ハイパス)
-----	150mm【記入】	KFLDCP	KF形タイル铸铁管		縮切仕切弁
-----	175mm【記入】	KFPEDCP	KF形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管		ソフトシール縮切仕切弁
-----	200mm【記入】	ULDPCP	U形タイル铸铁管		私設仕切弁
-----	250mm以上【記入】	UFLDCP	UF形タイル铸铁管		スルスハルブ
	パイプリハース管	LUFDCP	LUF形タイル铸铁管		止水栓
	パイプインパイプ管	HCP	ハイトジョイント铸铁管		逆止弁
-----	県水【記入】 (広島水道用水供給事業)	SP	鋼管		ゴムシート形バタフライ弁
(導)	導水管	VLSP	硬質塩化ビニルライニング鋼管		メタルシート形バタフライ弁
(送)	送水管	PLSP	ポリエチレン粉体ライニング鋼管		不断水挿入仕切弁
(取)	取水管	GP	亜鉛引鋼管		不断水挿入管路断水器
(揚)	揚水管	SUS	ステンレス鋼管		不断水挿入ゴムシート形バタフライ弁
(排)	排水管	AP	石綿セメント管		不断水挿入メタルシート形バタフライ弁
(私)	私設管	VP	硬質塩化ビニル管		空気弁
CP	铸铁管	HIVP	耐衝撃性硬質塩化ビニル管		補修弁付空気弁
TLDCP	タイル形タイル铸铁管	HIRRVP	ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管		地上消火栓、ストレーナ
TPEDCP	タイル形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管	PP	ポリエチレン管		消火栓
SLDCP	S形タイル铸铁管	HP	ヒューム管		消火栓(うず巻式)
SPEDCP	S形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管	LP	鉛管		空気弁付消火栓
SⅡLDCP	SⅡ形タイル铸铁管	PEP	パイプリハース(管更生)		空気弁付消火栓(うず巻式)
SⅡPEDCP	SⅡ形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管	PIP	パイプインパイプ(管更生)		補修弁付空気弁付消火栓
NSLDCP	NS形タイル铸铁管		片落管		補修弁付消火栓
NSPEDCP	NS形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管		仕切弁、ドレン弁		単独式減圧弁、水位調整弁
GXLDCP	GX形タイル铸铁管		仕切弁(JIS)		並列式減圧弁
GXPEDCP	GX形エポキシ樹脂粉体塗装タイル铸铁管		ビット付キー仕切弁		安全弁
MLCP	メカニカル形铸铁管		ソフトシール仕切弁		水抜栓
MLDCP	メカニカル形タイル铸铁管		ソフトシール仕切弁(JIS)		常時排水設備

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	十字管型排水装置	—T—	NTTケーブル		
	栓止め	—E—	中電ケーブル		
	給水口	—KDDI—	KDDIケーブル		
	流量計		メカニカル形継手		
	計量器(メーター)		タイトン形継手		
	漏水測定器取付設備		ソケット形継手		
	配水本管漏水探知設備	—	フランジ形継手		
	沈下測定棒		ドレッサー継手		
	定置式自記録水圧計		K形継手		
	電柱		KF形継手		
—	ケーブル 【記入】		U形継手		
	直流電源装置 (電食防止施設)		UF形継手		
	テストボックス (電食防止施設)		S形継手		
	地番		SII形継手		
H1 S54 M30 T14	布設年度		NS形継手		
	受贈管		GX形継手		
	老朽管	○	メカニカル形特殊形押輪使用 か所		
	移設に伴う上げ管	△	タイトン形特殊形押輪使用か 所		
	移設に伴う下げ管	×	SII形ラフ使用か所		
V.D	曲管垂直下り	□	NS形ラフ使用か所		
V.U	曲管垂直上り	●	NS形特殊割押輪使用か所		
V.H	曲管ヒネリ使用	■	GX形ラフ使用か所		
L	測定距離	◎	G-Link使用か所		
D	測定深さ				
V	仕切弁				
H	消火栓				
	放棄管				
	撤去管				
—S—	下水管				
—G—	ガス管				

16. その他

(1) 仕切弁の操作回転数等の記入

400耗以上の仕切弁及びバタフライ弁等を使用した場合は、平面図及び縦断図に引き出し線で製作メーカー、回転方向及び操作回転数を記入する。

(2) 水管橋の塗装仕様の記入

水管橋工事及び添架工事において施工した塗装仕様は、詳細図に記入する。

(3) 電線管の記入

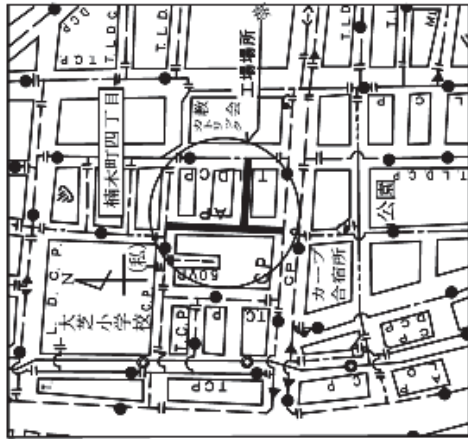
配管工事と電線管工事が同一工事の場合は、電線管布設区間に名称等を記入する。

なお、電線管平面図を作成する場合は、詳細図の後とする。

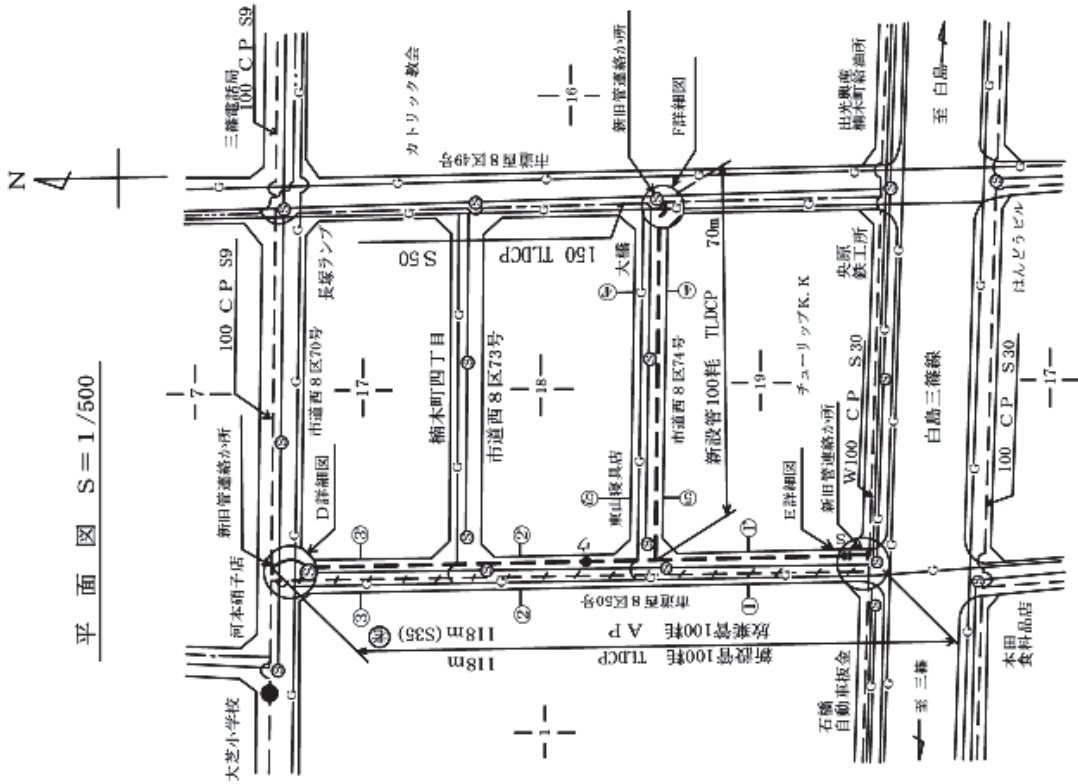
(4) その他、維持管理上必要と思われる事項を、平面図又は詳細図に記入する。(例. 矢板埋殺しのか所及びその種別等)

[参考図 1]

位置図 S = 1/6,000



平面図 S = 1/500

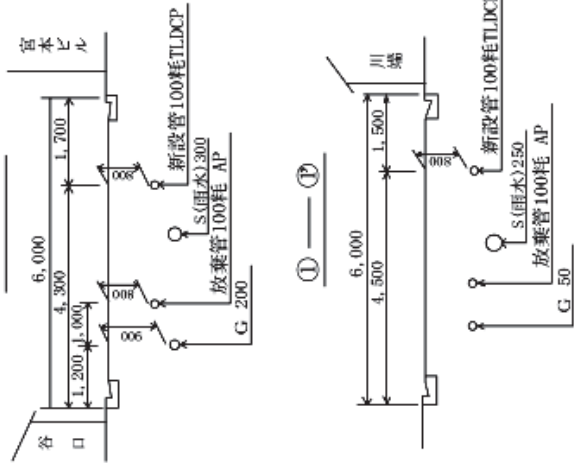


工 事 内 容		工 事 内 容	
名 称	管 種	延 長	備 考
新設揚水管	NSPEDCP	150m	150m ②
"	配水管	100m	100m ②
"	"	300m	350m ②
"	"	50m	805m ②
"	NSPEDCP	105m	1か所 ②
消火栓	75		

工 事 内 容		工 事 内 容	
名 称	管 種	延 長	備 考
新設管	NSLDACP	350m	
"	"	150m	
"	TLDCP	100m	
消火栓	75	1か所	
撤去管	MLDCP	150m (S42)	
放棄管	AP	100m (S35)	

凡 例	
新設管 200耗	200耗
" 150耗	150耗
放棄管	100耗
ソフトシール仕切弁	
消火栓 (うず巻式)	
タイTON形特殊押輪 使用か所	
メカニカル形特殊押輪 使用か所	
W	設置水道管
S	下水道 (雨水、汚水)
G	ガ ス 管
T	N T T ケーブル
E	中電ケーブル

断面図 S = 1/100

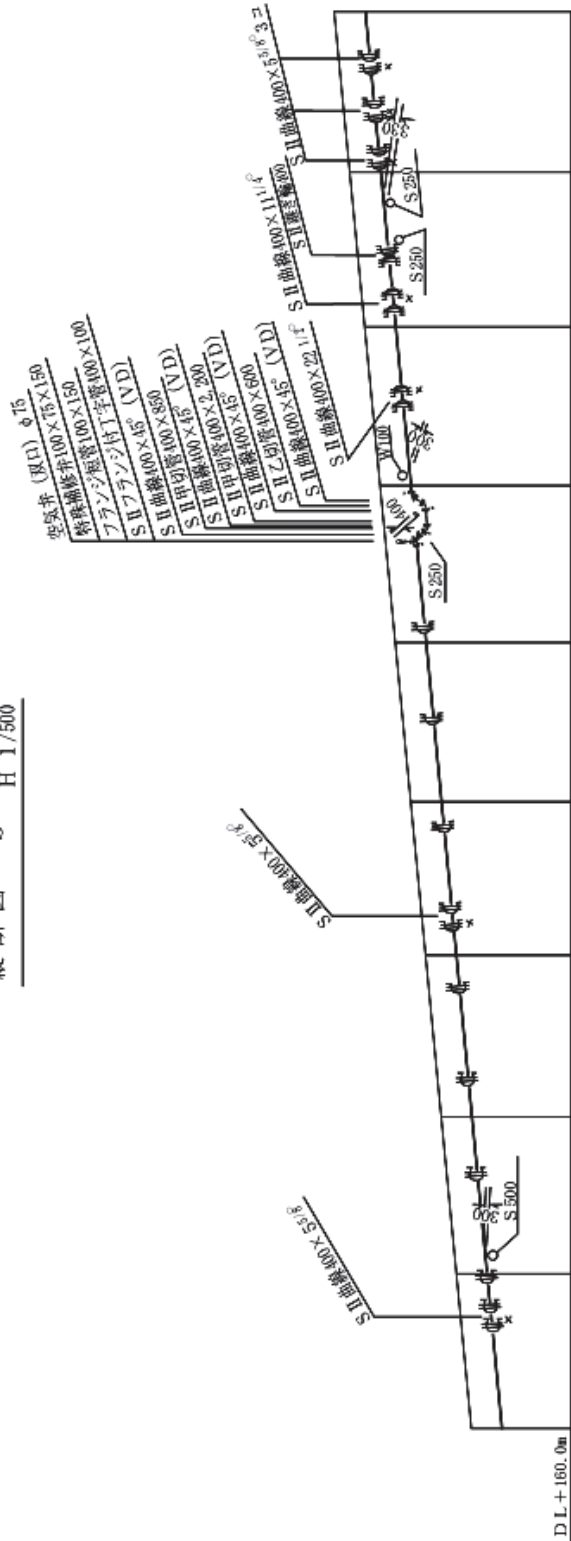


マイクログ番号	
配管工種	図面番号
工事番号	年度
工事名	年度
図面枚数	図面
工事完成	図面
業 区	監督
	課長
	技師
	技師
	技師

[参考図 2]

平面図を記入

縦断図 S = V 1/100
H 1/500



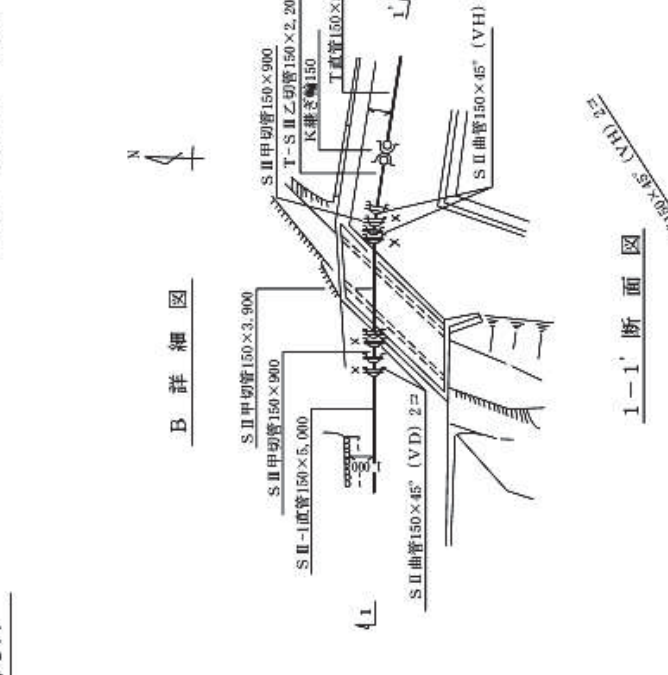
注) 300耗以下は、配管記号のみで、受口は記入しない。ただし、空気弁の位置は記入する。

土盛り	管天高	地盤高	追加距離	単距離	測 点
021	00300	00200	00000	00000	021
021	00300	00200	00000	00000	022
021	00300	00200	00000	00000	023
021	00300	00200	00000	00000	024
021	00300	00200	00000	00000	025
021	00300	00200	00000	00000	026
021	00300	00200	00000	00000	027
021	00300	00200	00000	00000	028
021	00300	00200	00000	00000	029
021	00300	00200	00000	00000	030
021	00300	00200	00000	00000	031
021	00300	00200	00000	00000	032
021	00300	00200	00000	00000	033
021	00300	00200	00000	00000	034
021	00300	00200	00000	00000	035
021	00300	00200	00000	00000	036
021	00300	00200	00000	00000	037
021	00300	00200	00000	00000	038
021	00300	00200	00000	00000	039
021	00300	00200	00000	00000	040
021	00300	00200	00000	00000	041
021	00300	00200	00000	00000	042
021	00300	00200	00000	00000	043
021	00300	00200	00000	00000	044
021	00300	00200	00000	00000	045
021	00300	00200	00000	00000	046
021	00300	00200	00000	00000	047
021	00300	00200	00000	00000	048
021	00300	00200	00000	00000	049
021	00300	00200	00000	00000	050
021	00300	00200	00000	00000	051
021	00300	00200	00000	00000	052
021	00300	00200	00000	00000	053
021	00300	00200	00000	00000	054
021	00300	00200	00000	00000	055
021	00300	00200	00000	00000	056
021	00300	00200	00000	00000	057
021	00300	00200	00000	00000	058
021	00300	00200	00000	00000	059
021	00300	00200	00000	00000	060
021	00300	00200	00000	00000	061
021	00300	00200	00000	00000	062
021	00300	00200	00000	00000	063
021	00300	00200	00000	00000	064
021	00300	00200	00000	00000	065
021	00300	00200	00000	00000	066
021	00300	00200	00000	00000	067
021	00300	00200	00000	00000	068
021	00300	00200	00000	00000	069
021	00300	00200	00000	00000	070
021	00300	00200	00000	00000	071
021	00300	00200	00000	00000	072
021	00300	00200	00000	00000	073
021	00300	00200	00000	00000	074
021	00300	00200	00000	00000	075
021	00300	00200	00000	00000	076
021	00300	00200	00000	00000	077
021	00300	00200	00000	00000	078
021	00300	00200	00000	00000	079
021	00300	00200	00000	00000	080
021	00300	00200	00000	00000	081
021	00300	00200	00000	00000	082
021	00300	00200	00000	00000	083
021	00300	00200	00000	00000	084
021	00300	00200	00000	00000	085
021	00300	00200	00000	00000	086
021	00300	00200	00000	00000	087
021	00300	00200	00000	00000	088
021	00300	00200	00000	00000	089
021	00300	00200	00000	00000	090
021	00300	00200	00000	00000	091
021	00300	00200	00000	00000	092
021	00300	00200	00000	00000	093
021	00300	00200	00000	00000	094
021	00300	00200	00000	00000	095
021	00300	00200	00000	00000	096
021	00300	00200	00000	00000	097
021	00300	00200	00000	00000	098
021	00300	00200	00000	00000	099
021	00300	00200	00000	00000	100

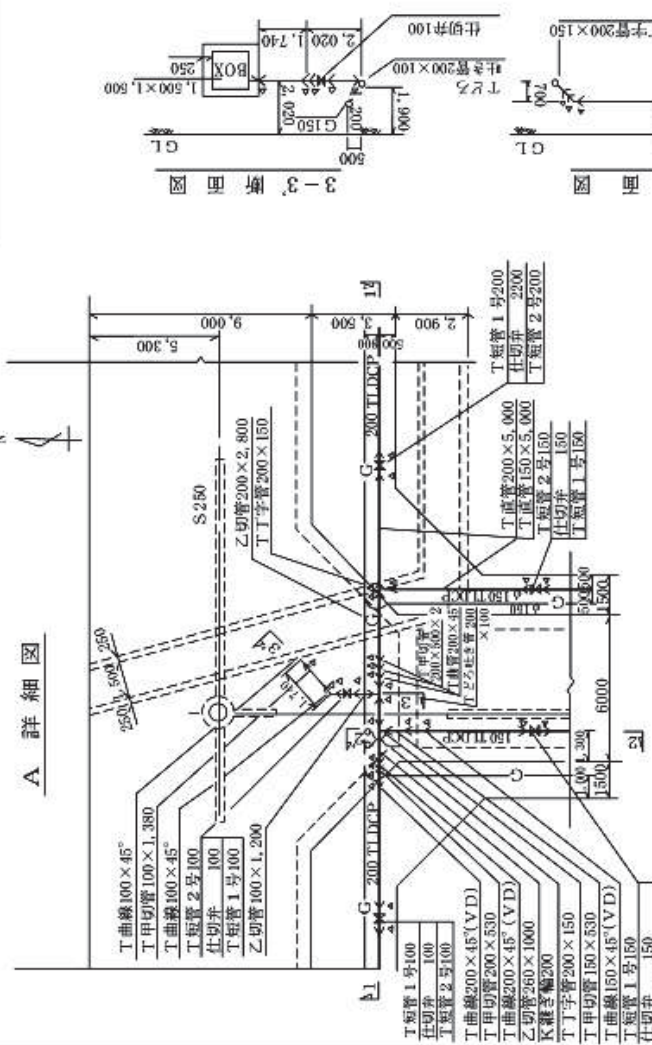
マイクログリッド番号	
配管計画図番号	
工務番号	平成 〇〇年度〇〇〇〇年度
工事名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
設計院	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
工事地区	〇〇〇〇〇〇 〇〇〇
設計者	〇〇〇〇〇 〇〇〇
監理者	〇〇〇〇〇 〇〇〇
備考	

[参考図 3]

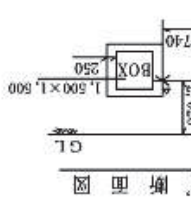
詳細図 S=1/100



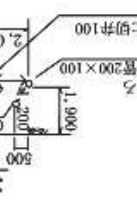
A 詳細図



B 詳細図



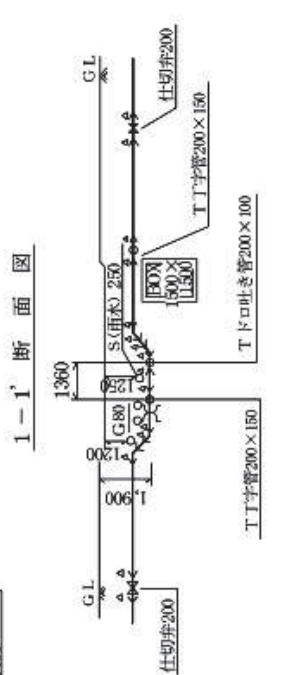
3-3' 断面図



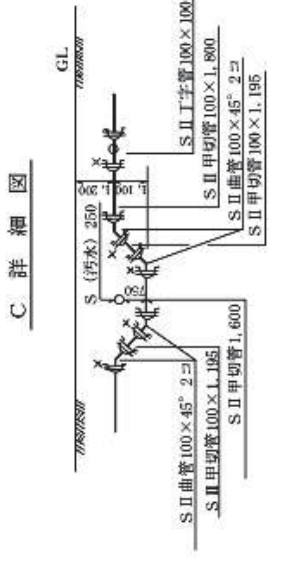
2-2' 断面図



1-1' 断面図



1-1' 断面図

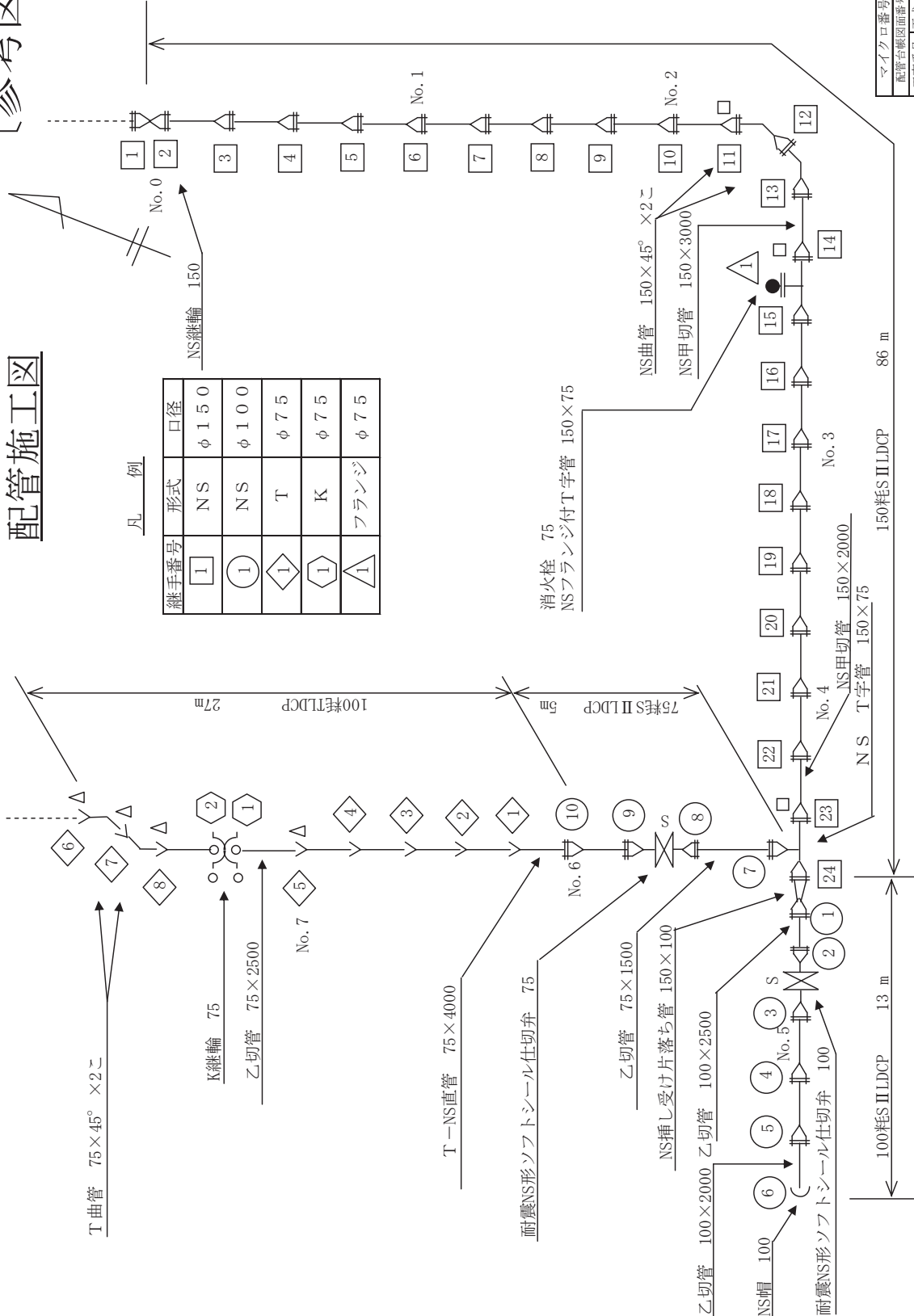


C 詳細図

マイクログラフ	製作	○年度○期○号	納期
配管工事計画	作成	○年度○期○号	設計
工事番号	○〇〇〇〇配水管新設工事	○年度○期○号	図面枚数
工事名	○〇〇〇〇配水管新設工事	○年度○期○号	○年度○期○号
図面枚数	○〇張	○年度○期○号	○年度○期○号
工事完成	○年度○期○号	○年度○期○号	○年度○期○号
製図	監理	検査	所長
広島市水道局	配水管課	○○○	工事事務所

[参考図 4]

配管施工図



凡 例

継手番号	形式	口径
1	NS	φ150
①	NS	φ100
◇	T	φ75
◇	K	φ75
△	フランジ	φ75

マイクログ番号	
配管台帳図面番号	
工事番号	平成 ○年度○○第○○○号
工事名	○○○○配水管新設工事
図面枚数	○枚の内 ○葉
縮尺	フル
図面	図面
工事完成	○年○月○日
製 図	監督 係長
	所長
	配管 施工 図
広島市水道局 配水部○○工事事務所	